

## 開発途上国の評価能力向上をめざして

開発事業を効果的・効率的に実施するためには、開発途上国が主体的に評価・モニタリングを行うことが必要です。当行では開発途上国の評価・モニタリング能力向上を積極的に支援しています。

### JICA 連携円借款プロジェクト評価セミナーの実施

当行では、2001年度よりJICAと連携して「円借款プロジェクト評価セミナー」を開催し、途上国の援助機関で開発事業を担当する職員を対象とした研修を行っています。

2007年度のセミナーでは当行の評価制度を踏まえた事後評価に関するケーススタディを行ったほか、JICAやアジア開発銀行等の援助機関に加えて大学からも講師を招き、各組織における評価制度のあり方や手法について紹介していただきました。また、途上国の政府機関における合同評価経験者を招聘して事例紹介を行い、研修生たちとの活発な議論を行いました。研修生たちはこれらを通じて評価のノウハウを習得すると共にその意義を学び、積極的な意見交換を行いました。こうした議論等を踏まえ、研究生たちは、所属する途上国政府機関において効果的な評価モニタリング制度を整備・改善していくため、今後自国でのフィードバックを行うことになっています。

2001年度から開催されてきた本セミナーも、今年で7回目を迎えました。このセミナーを通じて構築されたパートナーシップを生かし、当行はこれまで6カ国との合同評価を実施し、途上国政府の評価制度の改善・調和化を図ってきています。当行は今後も、開発事業の評価にかかる国際的なネットワークの構築と、途上国自身による事業評価の実現をめざして、途上国政府の評価能力向上を引き続き支援していきます。



(上)(下)円借款プロジェクト評価セミナー

### エジプト政府の評価能力向上支援のためのセミナー開催

左記セミナーに加え、2007年度は「事業評価の知識と意欲を高めたい」というエジプト政府からの要請に基づき、当行の評価システムおよび同システムに則った具体的な事後評価手法のケーススタディを行うセミナーを実施しました。受講者からは学んだ知識を所属組織のほかの職員に伝達しようとする意欲、担当するプロジェクトへの適用方法を検討している様子がみられ、また開発プロジェクト関係者に知識を広めたいとの意見が寄せられました。今後、同国の評価・モニタリング能力が一層向上することが期待されます。



エジプト評価セミナー

### スリランカ評価学会への貢献

当行では、開発途上国の評価学会の会合にも積極的に関与しています。

2007年3月にはスリランカ評価学会の国際会議が開催され、同学会が中心となって南アジア評価ネットワークが設立されました。当行も、このような地域協力の動きを歓迎し、同会合の場で「開発途上国との合同評価による評価・モニタリング能力向上の取組み」の紹介を行いました。同会合へは、評価に関連する大臣、政府高官や中央銀行総裁、主要ドナーの代表、外国からの報告者等120人以上の参加者があり、当行からの発表については当行の評価システムへの賞賛や、日本の協力への謝辞等が、議長および参加者から寄せられました。